

まえがき

本研究資料は、当研究所が実施している「食料・農業の危機管理システムの構築に関する研究」（略称「危機管理プロ」（平成 14～16 年度）の成果の一部として刊行するものである。この研究は、食料安全政策に関する社会科的アプローチを行うものであり、食品安全に関わる経済分析と政策対応のあり方に関する総合研究である。平成 16 年度においては、

(1) 食品・農産物の安全性に関するリスクの経済分析

(2) 食品安全性にかかわる比較制度・政策分析

の 2 課題を、相互の関連にも留意しつつ推進してきた。

同プロジェクトに参加する研究員が行った広汎な研究成果は、個別に発表された論文のほか、「食料・農業の危機管理に関する社会科学的アプローチ」（危機管理プロジェクト研究資料第 1 号）にとりまとめられているが、今般刊行する第 2 号は、特に食の安全・安心と環境意識、トレーサビリティに対する我が国消費者の意識に焦点を当てて分析したものである。このような消費者意識を探るための本格的な調査は、従来、経済学などを中心に研究を行ってきた当研究所にとっては新たな分野である。

このため現在、当研究所にはこのような分野の研究に本格的に取り組む十分な研究体制が整っているわけではないので、本資料集の研究成果についても、我々自身、更なる考究が必要であろう。しかしここに整理されたデータそのものからも、食品安全に係るリスクコミュニケーションの推進に努力されている関係各位に資するものが十分に読み取られるのではないかと考えており、ここに単独の研究資料として公表するものである。

本研究推進にあたりご協力を賜った諸氏、とくに貴重なコメントをお寄せいただいた外部評価委員の諸先生方には心から感謝申し上げたい。

平成 17 年 3 月

農林水産省農林水産政策研究所
危機管理プロジェクトチーム